

# 県下一の短命 返上へ

## いのちの山河 沢内村「生命行政」に学んで

一番身近な町行政の予算をどのように使うか論議(審議)する大事な3月議会が7日から始まりです。議会運営委員会(25日)に提出された平成23年度一般会計予算案は約36億2千万円です。4日の全員協議会にて議案説明が始まります。西澤議員の一般質問は次の概要です。

### 沢内村の「生命行政」から学ぶ

岩手県沢内村(現西和賀町)の実践が改めて注目されている。命の平等を町行政の中心に据える大切さ。そこから「格差緩和」「同和特別対策からの卒業」「住民参加・町民合意の前進」が見えてくる。

子どもの医療費中学校卒業までの無料化は「高い国保税を引き下げて」の願いは切実。どう応えるか。健康診断の無料化で受診率の飛躍を。「県下一の短命」返上作戦を。各種減免制度の公正な活用を。

同対事業の分譲宅地の公正な整理課題は

不法投棄への対応を厳正に。管理責任の主体である県の明確な姿勢を引き出すために特別な取り組みが必要なのは。ゴミ処理広域化計画の現状と課題

住民にとってゴミ問題は様々な角度から見ても「一番身近な問題」のひとつといえる。現状はどこまで進んでいるのか、明らかにして住民と行政が一緒に考える状況をつくるべきでは。

3月議会日程・一般質問は7日  
議会運営委員会が25日開かれ、下記の議事日程を確認しました。一般質問(7日)は宮崎議員、木村議員、金澤議員、西澤議員が通告。  
4日(金) 全員協議会  
7日(月) 開会・議案提案など・一般質問  
9日(水) 予算決算常任委員会(一般会計)  
10日(木) 予算決算常任委員会(特別会計)  
11日(金) 予備日  
14日(月) 資格審査特別委員会  
22日(火) 委員長報告・議案採決など・閉会

現状はいかに。2005年の住民監査請求の監査結果時点と比較してどうか。行政内での論議は。総括と課題は。  
入札制度の改革と実行  
入札制度とその執行の公正さが問われる根本の原因をいかに考えるか。ゆがみが生じた原因は何だったのか。  
制度それぞれの利点と弱点・特質を明らかに。  
小規模業者の保護育成、町内業者の優先の課題と公平・公正の確保をいかにすすめるか。  
近い将来「公契約条例」の制定の展望を持つことが肝心では。  
犬上川堤防沿いの環境保全・美化を問う  
田の砂利採取後の回復について、現状は。

一般質問・資格審査特別委員会はどなたも傍聴できます。

町民の声  
アカンもんはアカンと、しっかりケリを付けてくれ。  
まともな論議ができるよう大掃除をしてくれ。町民のくらしや農業のこと、後継者のこと、「これからの甲良町をどうするか」の論議ができる町議会になってもらわんと困る。

## 濱野議員の失職決まる

濱野議員は平成21年7月の官製談合疑惑がもちあがった当初から、「議員の兼業禁止」に当たっているのではないか、と指摘されていました。濱野議員が恐喝未遂事件の訴えを起こした際の供述調書に「私が実質経営する浜野工務店」と記述し、署名・捺印していたことが判明。濱野議員の「弁明」でも否定することができず、21日の本会議で地方自治法第127条に基づき、出席議員の3分の2の多数で決定されました。決定された理由は以下の通りです。

株式会社浜野工務店は甲良町の指名願申請業者である。平成21年7月9日、甲良町発注の「甲良町介護福祉空間及び子育て支援センター建設工事」を落札した。

滋賀県知事への届け出書によれば、平成21年5月1日～22年4月30日までの完成工事高は2億64,95万3千円である。上記町発注の完成高は1億51,64万円となっており、町の発注高が57%を占める。これは明らかに地方自治法第92条の2が示している「主として」に該当する。

濱野圭市議員は現在公判中の甲良町官製談合疑惑に絡む恐喝未遂事件に関し、「役員に就く株式会社浜野工務店」あるいは「私が実質経営する浜野工務店」と記載した供述調書に署名・捺印している。この調書の存在は公判で弁護人から読みあげられ聴衆も知る事実である。そしてこれは、濱野圭市議員が上記入札に参加し、直接応札していることや議会で自身の辞職勧告決議案が上程された際の弁明で「私どもの会社」と名乗り経営方針を話していることなど、「実質経営者」として濱野圭市議員の立場を表明した状況証拠を決定的に裏づけるものである。

よって、濱野圭市議員は地方自治法第92条の2に該当する。

## 甲良民報

2011年2月27日 467号  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在士463  
Tel.Fax38-4949【28日補強版】

